『烏帽子の会』山行記録

《月日》10 月 17 日（土）　　《天気》晴れ
《参加者》　　合計 16 名

《コースタイム》7：00 大町市役所～7：30 スイス村 4 名合流～8：45 藪原駅 9：10 一里塚～9：34 中町～9：41 藪原本陣～10：06 トイレ休憩～10：16 百草の森分岐～10：47 鳥居峠分岐～10：50 丸山公園（お昼）～11：30 出発 ～11：50 御嶽神社～12：34 鳥居峠～12：51 中ノ茶屋～13：25 鎮神社～ 14：20 奈良井駅～14：26 藪原駅～14：50 村民センター～15：00 解散

《コース状況・その他周辺情報》



村民センターに車を停めさせていただいてガイドさんと合流し歩き始めました。ここを歩いていいのかと思うような人の家の庭先のようなところを通りました。ここは中山道なので堂々と通って下さいと言われました。

下見もしましたがガイドさんがいなければ絶対に通らなかった道だと思います。藪原宿は奈良井宿に比べて宿場町らしさ余りは残っていませんが、その中でも古い建物が残っていて大屋根や出梁造り（だしばりつくり）「そでうだつ」の説明をしていただきました。うだつの下に「もちおくり」という彫刻が施してあり大工さんが施主さんに彫ってプレゼントをしたという話もお聞きしました。

つばめのかたちの看板が目立ちましたがその看板がついているところは全部空き家だそうです。村おこしのイベントで地域おこし協力隊の方が考えてなんとかその空き家に人が住んで木祖村に賑わいが戻ればという思いが込められているそうです。



鳥居峠越え遊歩道から気持ちのいい森の中の道を歩いて石畳に入りました。

この石畳は当時のものではなく河原の石を使っていて貼り方も良くないとガイドさんが嘆いていました。また最近の大雨で道がえぐられて今まで見えなかった岩盤や石がゴロゴロとしていて歩きにくくなったそうです。確かに天気が悪かったら滑って危ない感じでした。

奈良井宿までは途中急な下り坂で登ってくる人はかなり息が上がっていました。藪原宿から奈良井宿

に抜けるほうが歩きやすいと思いました。全体的には危ないところもなく快適なコースでした。

《感想》



今回は 9 月の例会で最初は 9 月 26 日を予定していましたが、雨の予想で 10 月 17 日に変更させてもらいました。

今回も雨だったらどうしようかと思っていましたがお天気に恵まれてお昼を食べた所では寒かったですがあとは快適なトレッキングを楽しむことができました。烏帽子の会としては 3 回目となるガイドさんをお願いしてのトレッキングでしたがガイドの柳川さんがとてもいい方で、偶然　綿内さんは至仏山で、太田さんはニュージーランドでご一緒した方でした。地元木祖村出身で藪原宿の中は知り尽くした感じで途中の古いおうちの方からも声をかけていただいてお家の中も見せていただけました。

木祖村で有名なお六櫛は「みねばり」という木から作るそうで「斧おりかんば」と言われるほど固い木だそうです。昔はお六櫛造りにかかわる工場や職人さんがたくさんいたそうですが、今は数少なくなっているそうです。

柳川さんもお六櫛造りをされるそうでご自分で作った櫛を見せてくれました。お六櫛造りも体験したいと思いました。柳川さんの説明は離れていても木祖村観光協会さんからお借りしたイヤホーンガイドでしっかり聞けて快適でした。山博でもぜひ購入してもらいたいと強く思いました。

木祖村観光協会の方も事前の打ち合わせからいろいろとアドバイスをいただき本当に親切にしていただきました。今後も何か企画をしていただいて参加したいと思っています。

「柳川さんと歩く〇〇峠越え」もシリーズ化したいと思います。

